

高等学校 令和 7 年度 （ 2 学年用）

教 科 ： 芸術 科 目 ： 音楽Ⅱ

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 2 学年

教 科 担 当 者 ： （ 1 組～ 7 組：川田）

使 用 教 科 書 ： 音楽Ⅰ Tutti+（教育出版）

教 科 の 目 標 ： 音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽評価をしながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体性・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 校歌に親しもう						
	【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。	【使用教材】 プリント	【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解することができる。	【指導項目・内容】 歌唱 ・校歌の旋律・歌詞を思い出し、正しい歌詞の意味を考え、曲にふさわしい表現を考える。	【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解しようとしている。		○	○	2
	【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫しようとしている。				
1 学 期	2 単元名 キーボードに挑戦しよう						
	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。	【使用教材】 楽器、プリント	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を習得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができる。	【指導項目・内容】 器楽 ・基本的な奏法、運指、リズム、拍子、調性を意識しながら、弾き語りを行う。	【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫しようとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに表現を創意工夫することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに表現を創意工夫しようとしている。				
1 学 期	3 単元名 音の物語にふれよう						
	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めることができる。	【使用教材】 教科書、プリント	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができる。	【指導項目・内容】 鑑賞 ・交響詩の意味を理解し、物語の順番を予想する。 ・作曲家、楽曲について学習する。	【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くこうとしている。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動をしている。		【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動をしようとしている。				
1 学 期	4 単元名 楽典						
	【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解することができる。	【使用教材】 教科書、プリント	【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。	【指導項目・内容】 音楽理論 ・音の長さ、音程、音階について学ぶ。	【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。	○		○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうと意欲的に取り組むことができる。		【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうと意欲的に取り組もうとしている。				

高等学校 令和 7 年度 （ 2 学年用）

教 科 ： 芸術 科目 ： 音楽Ⅱ

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 2 学年

教 科 担 当 者 ： （ 1 組～7 組：川田）

使用教科書：音楽Ⅰ Tutti+（教育出版）

教科の目標： 音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽評価をしながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体性・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
2 学 期	1 単元名 ギターに挑戦しよう						
	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。	【使用教材】 楽器、プリント	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を習得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 楽器表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに楽器表現を創意工夫することができる。	【指導項目・内容】 楽器 ・「きらきら星」 ・単音階の運指、フレットの位置、旋律（ド～高いミ）を覚え、適切な速さで演奏する。	【思考力、判断力、表現力等】 楽器表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって楽器表現を創意工夫しようとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに表現を創意工夫することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに表現を創意工夫しようとしている。				
2 学 期	2 単元名 楽典						
	【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解することができる。	【使用教材】 教科書、プリント	【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。	【指導項目・内容】 音楽理論 ・長調と短調の音階、和音と和音記号、コードネーム、いろいろな記号・用語を学習する。	【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうと意欲的に取り組むことができる。		【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうと意欲的に取り組もうとしている。				
2 学 期	3 単元名 箏に挑戦しよう						
	【知識及び技能】 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。	【使用教材】 楽器、教科書、ワークシート	【知識及び技能】 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 様々な表現形態による楽器表現の固有性や多様性を理解することができる。	【指導項目・内容】 楽器 ・「千本桜」 ・ハ長調の音階や箏譜に慣れ、演奏する。 ・さまざまな楽器の音色を感じ取り、息を合わせ演奏する。	【思考力、判断力、表現力等】 様々な表現形態による楽器表現の固有性や多様性を理解しようとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 箏の音色や楽曲に関心をもち、意欲的に取り組むことができる。		【学びに向かう力、人間性等】 箏の音色や楽曲に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。				
2 学 期	4 単元名 聴音						
	【知識及び技能】 聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。	【使用教材】 ワークシート	【知識及び技能】 聴音に関する知識や技能を身に付けようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。	【指導項目・内容】 音楽理論 ・音符の書き方、音の高さを感じ取り、五線譜に記入する。	【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。	○			8
	【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。		【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 （ 2 学年用）

教 科 ： 芸術 科 目 ： 音楽Ⅱ

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 2 学年

教 科 担 当 者 ： （ 1 組～ 7 組：川田）

使用教科書：音楽Ⅱ Tutti+（教育出版）

教科の目標： 音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽評価をしながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体性・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な 指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
3 学 期	1 単元名 器楽合奏を楽しもう						
	【知識及び技能】 他者との調和を意識して演奏することができる。	【使用教材】 楽器、教科書、ワークシート	【知識及び技能】 他者との調和を意識して演奏しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。	【指導項目・内容】 器楽 ・自身が選択した楽器で練習を行い、グループで発表を行う。 ・グループのメンバーで協力、相談、練習を行う。	【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫しようとしている。	○	○	○	6
3 学 期	2 単元名 世界の音楽と踊りを味わおう						
	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めることができる。	【使用教材】 DVD、教科書、ワークシート、	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができる。	【指導項目・内容】 鑑賞 ・音楽の特徴、楽曲背景、その国の踊りについて理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴こうとしている。	○	○	○	13
3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動をしている。		【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動しようとしている。				